

安中市立第一中学校

- ①学力向上に関連した目標・生徒像**
- 自ら学ぶ意欲を持った生徒の育成
 - 学んだことを活かして粘り強く課題解決に取り組む生徒の育成
 - 自分にも自信を持ち仲間と協力できる生徒の育成

- ②カリキュラム**
- 学ぶ意欲を高め、考える力を身につけさせため、全教科で授業のねらいを明確にした授業作りの実践。「一中スタンダードⅡ」の実践
 - 教科等横断的な視点で教育内容を組織的に配列

子どもや地域の実態(長所や課題)把握の様子

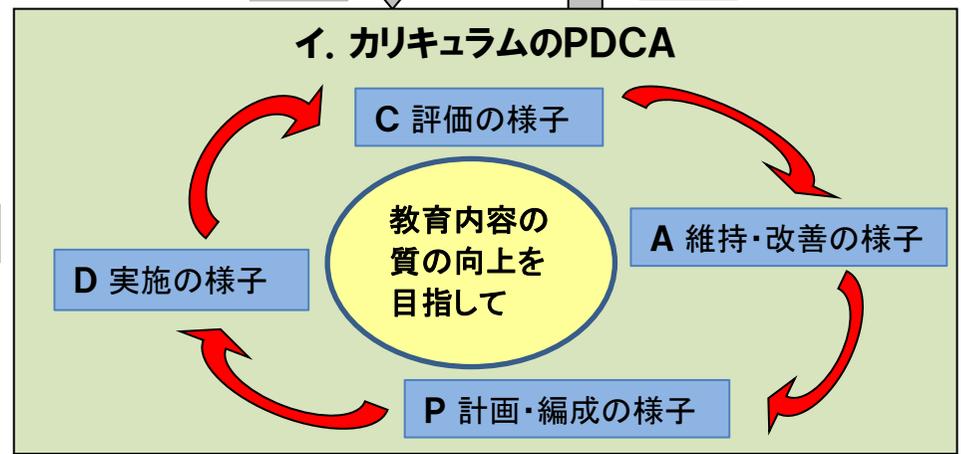
学校生活は落ち着いているが、主体的に学ぼうという意欲は低く、受動的な態度が多くの授業で見られる。多くの生徒は家庭での学習習慣が十分に身につけていない。学校には比較的協力的な家庭や地域。

ア. 教育目標の設定・共有化の様子、教育目標の具現化の状況

- 目標の設定については、学期ごとに見直しを図る。(成果や課題の確認)
- 校内研修を中心に、課題の確認や生徒が主体的に取り組める授業改善を行う。(一人1授業、要請訪問での代表授業等の活用)
- 1・2学期末に「学校経営アンケート」「保護者・生徒への学校アンケート」を実施し学校経営の見直しを図る。

- C**
- ・評価規準の作成と評価方法の工夫
 - ・学期末ごとの反省
 - ・学校経営アンケートの実施
 - ・保護者、生徒の学校アンケートの実施(前後での比較。数値化)
 - ・各種学力テストの実施

- D 家庭学習のてびき・学びアップ**
- ・実態に即した学力向上プランの作成
 - ・「ねらい」「まとめ」「振り返り」を意識した授業改善
 - ・生徒が学ぶことへの興味や意欲と考える力を高める質の高い学習指導の推進
 - ・各種テストの分析結果を生かした授業改善



影響

A

- ・評価から改善をスムーズに行う
- ・評価をしながらまた評価を生かしての有効な実施方法の模索

P

- ・一中スタンダードⅡを意識した授業づくり
- ・主体的な学びを取り入れた授業の工夫
- ・家庭での学習習慣を定着させるための工夫
- ・全国学テ、学力テスト等の分析による弱点の克服

**単元構想を大切に
にした授業づくり**

オ. リーダー

(校長、教頭、教務主任、学年主任、研修主任、学力向上コーディネーターなど)

ウ. 組織構造 :

【人】	【物】
・研修主任、学力向上コ	・教材教具の充実
・学年主任を中心の学年部会	【財】
・教科部会	・人的・物的資源
・ミドル、若手教員の活用	【時間】
	・2019・2020年度学力向上指定

エ. 学校文化

【学校文化】	【生徒文化】
・授業改善への意識	・自己有用感、受動的
・若手が多く、活発	・あいさつ
・ミドルリーダーの育成(課題)	【校風文化】
	・活発な部活動

カ. 家庭・地域社会等

- 協力的な家庭および地域
- 小中連携
- 家庭での学習習慣の定着

キ. 教育課程行政

- はばたく群馬の指導プランⅡ
- 学力向上特配の配置

教育活動 ↑ ↓ 経営活動

学校内

校外

連携・協働

相互関係

相互関係

相互関係

反映

成果

リーダーシップ

